

「通るクン」 実証試験結果

シーアイマテックス（株）

千葉県山武郡芝山町 抑制トマト生産者

試験方法：間口4.5m X 奥行50m単棟ハウスの両妻・両サイドに展張 慣行区は防虫ネット未使用

栽培期間：2025年7月9日定植～12月初旬

調査項目：ホリバーによるコナジラミ捕殺頭数及び地上1m付近のハウス内気温を計測

まとめ：コナジラミの捕殺頭数が慣行区より10％程度に抑制された結果黄化葉巻病の発病も抑制された。
またハウス内気温が2℃程度高く推移したため高温対策との併用が必要と考えられる。

※表中1：ハウス入口 2：ハウス中央 3：ハウス奥

捕殺頭数		↓	7月17日	7月25日	8月2日	8月13日	8月23日	9月2日
試験区	コナジラミ類	1	3	8	3	22	37	63
		2	0	1	3	16	26	82
		3	0	6	5	31	46	101
		合計	3	15	11	69	109	246
慣行区	コナジラミ類	1	0	61	51	188	133	393
		2	9	59	57	154	269	991
		3	10	45	47	188	136	926
		合計	19	165	155	530	538	2310

表 6 黄化葉巻病発病株数の推移 (株)

	7月17日	7月25日	8月2日	8月13日	8月23日	9月2日	9月12日	9月19日	9月30日	10月10日	10月21日	11月1日	11月8日
試験区	0	0	0	0	0	0	1	2	2	6	14	17	19
慣行区	1	2	19	24	45	61	124	133	133	138	161	170	193

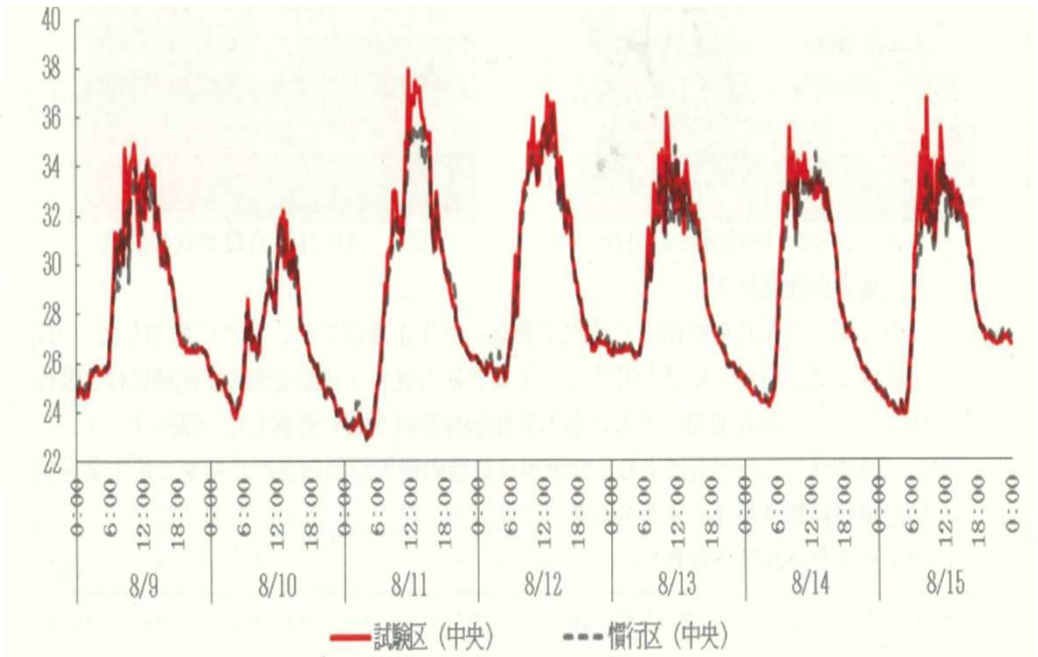


図 3 1 週間のハウス内の気温の推移 (中央)

千葉県山武市横田 抑制トマト生産者

試験方法：間口4.5m X 奥行50m単棟ハウスの両妻・両サイドに展張 慣行区は0.8mm赤色ネット使用

栽培期間：2025年7月17日定植～10月下旬

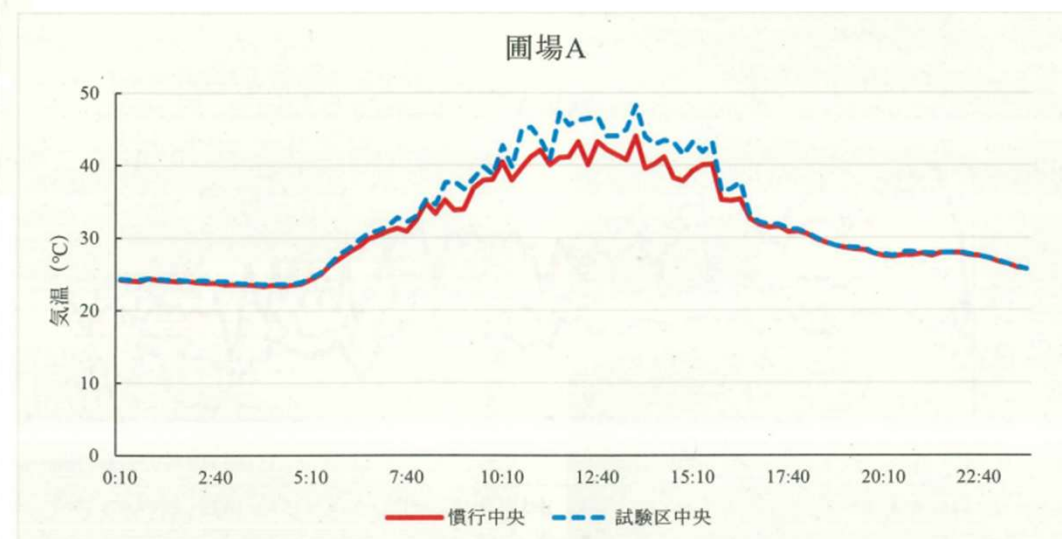
調査項目：ホリバーによるコナジラミ捕殺頭数及び地上1m付近のハウス内気温を計測

まとめ：コナジラミの発生及び黄化葉巻病による被害を低減できた。また、ハウス内最高気温が上がる傾向にあるが、トマトの収量・品質等への影響は見られなかった。

(1) コナジラミ類の発生



(2) 黄化葉巻病の発生



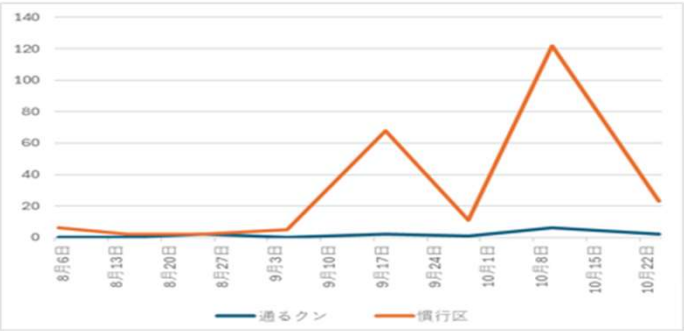
千葉県銚子市 抑制トマト生産者

試験方法：間口5.4m×奥行52m 4連棟ハウスの谷・サイド・出入口に展張 慣行区は谷4mm・サイド1mm出入口1mmを展張

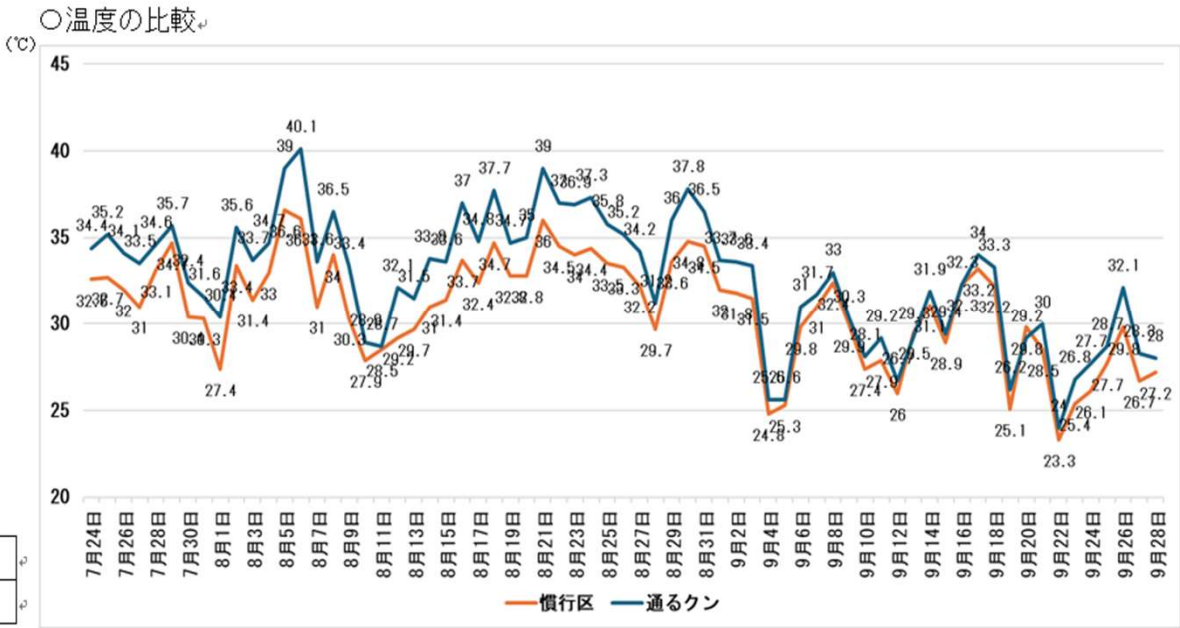
栽培期間：2025年7月中旬定植～1月手初旬

調査項目：ホリバーによるコナジラミ捕殺頭数及びハウス内気温を計測

まとめ：コナジラミの侵入抑制効果と黄化葉巻病発病も抑制できた。また、ハウス内気温は慣行区に比べ3～5℃程度高くなったが別棟の0.4mmハウスより1.5℃程度低かった。



コナジラミ数の推移



温度の比較

○黄化葉巻病発病率 (11月11日調査)

条件	健全株	発病株	抜き取り株	発病率
通るクン	50	1	0	2%
慣行区	63	41	3	41.1%

千葉県成田市 抑制トマト生産者

試験方法：間口4.5m X 奥行50m単棟ハウスの両妻上部・両サイドに展張 慣行区は0.4mmネット使用

栽培期間：2025年7月17日定植～11月下旬

調査項目：ホリバーによるコナジラミ捕殺頭数及び地上1m付近のハウス内気温を計測

まとめ：コナジラミの侵入抑制効果は0.4mmほどではないが認められた。また、ハウス内気温は0.4mmに比べ最大3°C程度低くなった。

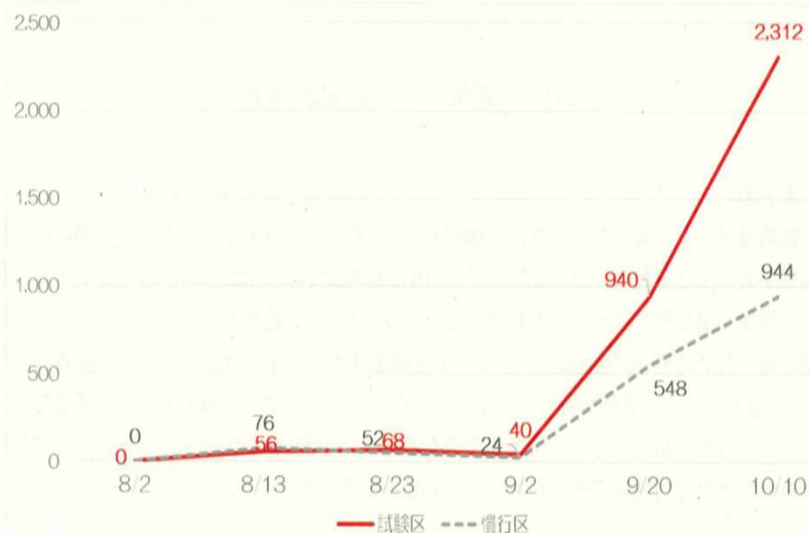


図1 粘着板によるコナジラミ類の捕殺頭数 (頭/表面3枚合計)

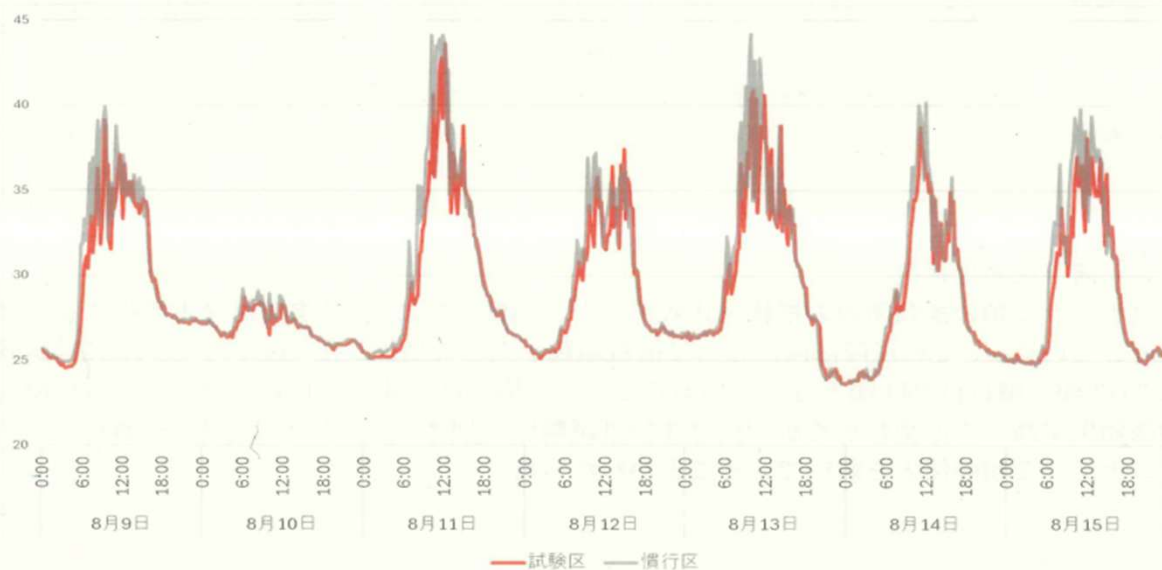


図2 1週間のハウス内気温の推移